

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

|                         |  |              |      |   |
|-------------------------|--|--------------|------|---|
|                         | 記入日 平成 25年 10月 8 日   |              |      |   |
| 所属学部・研究科                | 文学部 2年次 (留学開始時点)   |              |      |   |
| 留学先大学                   | ハンブルク大学 (国名: ドイツ )   |              |      |   |
| 所属学部・学科等名               | 歴史学  |              |      |   |
| 在籍身分                    | 交換留学生  |              |      |   |
| 留学期間                    | 平成 24年 9月 22 日 ~ 平成 25年 8月 29 日  |              |      |   |
| <b>1. 渡航について</b>        |  |              |      |   |
| ビザについて                  | ビザの種類: 学生ビザ  |              |      |   |
|                         | ビザ申請先: 自分の住んでいる地区の住民登録局  |              |      |   |
|                         | 取得方法, 提出書類:<br>1年間の生活に必要な収入の証明が必要でした。  |              |      |   |
|                         | 手続きに要した日数: 1ヶ月   |              |      |   |
| その他必要な事前手続き             |  |              |      |   |
| 出国年月日                   | 平成 24年 9月 22 日   |              |      |   |
| 経路                      | 中部国際空港発 アムステルダム経由 ハンブルク空港着   |              |      |   |
| 現地での出迎え                 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無 |              |      |   |
| 到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容 | 特にありませんでした。  |              |      |   |
| 帰国年月日                   | 平成 25年 8月 29 日   |              |      |   |
| 経路                      | ハンブルク空港発 アムステルダム経由 中部国際空港着   |              |      |   |
| <b>2. 留学経費について</b>      |  |              |      |   |
| 所要経費                    | 総額   | 148 万        | 円    |   |
|                         | 内訳   | 渡航費          | 15 万 | 円 |
|                         |  | 保険料          | 12 万 | 円 |
|                         |  | 教科書代(学費)     | 8 万  | 円 |
|                         |  | 宿舍費          | 40 万 | 円 |
|                         |  | 食費           | 12 万 | 円 |
|                         |  | その他 ( ビザ申請費) | 1 万  | 円 |
| ( 旅行費)                  | 40 万   | 円            |      |   |
| ( 諸経費)                  | 20 万   | 円            |      |   |
| <b>3. 授業について</b>        |  |              |      |   |
| 2012年 冬学期               | 10月 日 ~  | 3月 日         |      |   |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 2013年 夏学期                     | 4月 日 ~ 7月 日   |
| 年 学期                          | 月 日 ~ 月 日   |
| 年 学期                          | 月 日 ~ 月 日   |
| 授業の概要について<br>(カリキュラム, プログラム等) |   |
| 単位互換希望の有無                     | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無<br>※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること   |
| 学術面に関する後輩へのアドバイス              | わからないことがあったらすぐに友人や先生に質問し, そのまま放置しないことが大事だと思います。   |
| <b>4. 生活等について</b>             |   |
| (1) 留学先の住居について                |   |
| 住居の種類                         | <input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )   |
| 住居の広さ                         | 約 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 3人) <input type="checkbox"/> 無  |
| 住居に附属する設備                     | <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂<br><input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話<br><input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( ) |
| 住居費                           | 1ヶ月当たり 340 ユーロ(現地通貨) 約 35000 円  |
| 住居を決定した方法                     | <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者<br><input type="checkbox"/> その他 ( )   |
| 留学先での住居全般に関するアドバイス            | 部屋はそれぞれ個別ではあるものの, シャワーや台所が共有の寮だったため掃除が当番制でした。共有スペースがある場合, 人によってどの程度綺麗なものを良しとするかは違うので, 最初に細かく話し合っておくと思います。   |
| (2) 医療について                    |   |
| 1日以上入院を要する<br>病気・怪我等を         | <input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった   |
| 入院した場合                        | により 日入院   |
| 留学に当たり保険を                     | <input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった   |
| 掛けた場合                         | <input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )   |
| 掛け金は                          | 年間 12万円<br>補償額 死亡 円, 入院1日 円<br>その他 ( )  |
| 留学前後での予防接種<br>の必要の有無          | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  |
| 有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名  |   |
| 日常的な健康について<br>不安が             | <input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった<br>あった場合その理由:   |
| 留学先国の医療事情<br>(日本と比較して)        |   |

|  |   |                         |
|--|---|-------------------------|
| 留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと  | 食生活が大きく変化するので、慣れない内は胃薬などを持っていると便利かもしれません。   |                         |
| (3) 危険を感じた地域, 状況   |   |                         |
| 冬の夜の地下鉄。ドイツの駅には改札などは存在しないため小さな駅には人気がないことが多く、日没のはやい冬は授業後すぐ寮に帰っても少々不安を感じるがありました。   |   |                         |
| (4) その他生活等に関して参考となる事項  |   |                         |
| ハンブルクは交通機関、特に地下鉄がかなりしっかりと整備されていて非常に便利な都市です。ハンブルク大学の学生はハンブルク及び近郊の全交通機関に一学期間乗ることができるバスを購入することになるので、それを有効活用して郊外の町などにも訪れてみることをおすすめします。 |   |                         |
| <b>5. 帰国後の進路について</b>   |   |                         |
| 卒業予定年月   | 平成 27 年 3 月   | (当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月) |
| 卒業が遅れる見込みの場合, その理由   | <input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため<br><input type="checkbox"/> その他 (具体的に ) |                         |
| 現在の状況および今後の予定・進路等  | 専門分野の取りこぼした単位を取得しながら、就職活動を始める予定です。  |                         |
| 就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫  | 2年次に留学を開始すると、専門の単位の取得が厳しくなる代わりに、就職活動に響かないのではないかと思います。   |                         |
| <b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>  |   |                         |
| 書籍, サイト名   | 詳細 (出版社, URL 等)   | コメント                    |
|  |   |                         |
|  |   |                         |
|  |   |                         |
| <b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>  |   |                         |
|  |   |                         |

## 学習の概要に関するレポート

今回 HUSA プログラムによってハンブルク大学に留学し、語学の上達だけではなく、現地学生との交流によっても得られた価値観や考え方などは大きかったと思います。私が広島大学への入学を決めたのは HUSA プログラムの存在が大きかったため、今回の留学は高校生の時からの夢の実現でもありました。専門分野であるドイツ史研究の中でも特に北ドイツの歴史に興味があったため、北ドイツにあるハンブルク大学が協定校となっていたことが HUSA プログラムの利点だったと思います。また、単位の互換ができること、大学間の交換留学なので制度がしっかりしていること、JASSO からの奨学金を受給できたことなどから、金銭面や安全面で大きな心配をすることなく留学を終えることが出来ました。

ハンブルク大学では、前期はドイツ語の上達を目指した授業、後期は専門分野であるドイツ史の授業を受講しました。留学開始が2年次の夏であったこともあり語学力に不安があったため、前期はとにかくたくさんドイツ語を話す、聞く、読むことに専念しました。

授業ではドイツ語の文法、会話、独文和訳などを受講し、授業外ではハンブルク大学の日本語学科の学生と会話パートナーを組んだり、専門分野の単語力を身につけるために本を読んだりしていました。後期にはドイツ史の授業を受講しました。中でも、近世ドイツで使われていた書体の読み書きの授業は、これから歴史史料を読んでいく上で助けになるようなもので、日本の大学ではあまり学ぶ機会のない貴重な体験だったと思います。また、ハンブルクならではのハンザ同盟について学ぶゼミも非常に興味深いものでした。毎授業で行われるディスカッションで初めのうちには中々発言することができませんでしたが、クラスメイトや教授の助けもあり、徐々に活発に行うことができるようになり、最終的にはプレゼンテーションも行えるまでになりました。また、実際にハンブルク近郊のハンザ同盟都市を訪れて教授の解説を受けながら博物館を見たり、文書館に行って日本では見る機会のない実物の史料を見ながら解説を受けたり、プレゼンテーションのためにゼミの学生と協力したりと、ドイツに実際に行ってみなければ学べなかった大変充実した活動も行いました。また、授業とは別に研究分野に関する情報を得るため、実際に関連する物や建物を見るために色々な都市に出掛けて博物館や城郭などを見て回りました。

日本で文献を読んでいるだけでは体験できないような生の史料や建造物に触れることができたこと、また日本とは比べ物にならない量の資料にあたることができ、今後の研究に多いに役立つ学習を行えたと思います。また、現地の学生との交流を通じて視野が日本だけではなく海外にまで広がったことで価値観が変化し、今後の人生に今までとは違う新たな選択肢を見いだせた一年でした。



## 生活の概要に関するレポート

渡航前の情報があまり多くなかったことと、広島大学からハンブルク大学に留学する学生は私だけだったこともあって、渡航前は何をしていいかわからないという状態でした。渡航後はチューターの方がついてくださったため殆ど手続きはすぐに済んだのでよかったのですが、やはり渡航前の準備が大事であると思ったのはビザの取得の際でした。学生ビザの取得には確実に一年暮らせるだけの収入が本人もしくは親にあるという証明が必要だったのですが、日本の口座にある金額の証明では受理してもらえず、結局日本にいる親に頼んでドイツ大使館に書類を発行してもらい、それを郵送するという手間のかかる手続きを踏まなくてはなりませんでした。特に留学の要であるビザについての事前準備は入念にやらなくてはならなかったと反省しています。

授業が始まる前、渡航後すぐの何日かは、日本でのドイツ語の授業で学んでいるのとはまた異なった「生のドイツ語」をうまく聞き取れず、広島大学からの学生が一人しかいないこともあって相談できる人もいなかったためすっかり自信を失い、部屋に籠って本を読んでいました。授業が始まると次第に知り合いが増え、会話パートナーを組んだことでかなり生のドイツ語に触れる機会が増えてようやく留学の醍醐味が味わえるようになりました。友人が増えてからは一緒に出掛けたり、宿題や授業について気軽に質問できるようになって結果的にドイツ語の勉強の効率もあがっていき、後期からは専門である歴史の授業にもなんとなくついていけるようになりましました。

ハンブルクは大都市ということもあって色々な施設などが揃っており、よく授業後や週末には古本屋や博物館、港町ならではの船を訪れたりしていました。また、週末には学習の合間の息抜きに友人と近郊の町に出掛け、都市であるハンブルクとはまた趣の違った、ドイツの伝統的な建物や文化に触れるという体験もできました。ハンブルクは北ヨーロッパの中心に位置する場所であったため、北ヨーロッパの他の国へも積極的に旅行に出かけました。主に歴史的な建造物、城、博物館を訪れる事が多かったので、ドイツだけではなく西洋史全般の歴史に関する事物を生で見る事が出来たのにはとても感動しました。

また、大きく得るものがあつたのは研究分野のみに留まらなかったと感じています。現地の学生や他国からの留学生の交流の中で、日本の大学生とドイツや他の国々の大学生の価値観の違いや、大学で学ぶということに対する姿勢の違いなどを見出し、自分自身の価値観も留学前より随分視野が広いものになったと思います。

